



あおき

令和5年10月2日

校長 國友 謙

子どもたちがその日のために練習を重ねた城島祭りのパレードが中止になりました。全児童でよい思い出を作りたいと思っていましたので、とても残念です。

さて、本校の2学期は考えることを大切にしています。今回は、10月2日の全校朝会で考えることについて話したことを紹介します。

10月2日全校朝会

今日は、動物と人の考えることの違いを中心に話をします。

まず、賢い動物を3つ紹介します。これらの動物は、非常に賢く、ときには人に気持ちを伝えることもあります。

まずは、豚です。豚は犬よりも賢くて、人でいうと3才程度の子どもと変わらないほどだと言われています。特に覚えることが得意で、「おすわり」や「お手」などの芸を覚えることもできるそうです。

また、遊んでほしいときは「ブーブー」と低い声で、体をなでられて気持ちのよいときは、「ブッブッ」と低い声で短く鳴き、お腹が空いているときは「ピーピー」と高い声で鳴くそうです。

2番目は、カラスです。カラスは人の7才程度の賢さという研究結果があるそうで、食べ物などを得るための方法を考えたり、覚えたりすることが得意です。

ぶた

- ・犬よりかしこい
- ・人でいうと3才
- ・おぼえることがとくい

例えば、固くて割れないクルミという木の実を道路に置いて、車にひかせて、からを割って食べたり、見つけた餌を葉っぱの下などに隠しておいて、後で食べたりします。

3番目はタコです。タコは難しい言葉ですが神経細胞と言われるものが犬と同じくらいあり、その半分がタコの体や8本の足に振り分けられています。足1本1本に小さな脳があるイメージです。そのためにそれぞれの足が違うことができるので一度にいろんなことができると言われています。

このように動物の様子を見ていると動物も考えているようです。しかし、動物より人の方が遥かに考える力が高いです。なぜだと思いませんか。大きな理由の一つとして、言葉を使って考えることができることがあげられます。

言葉で考え、言葉で考えを書き、言葉で話し合い、よりよいものを作り上げることができるのです。



クルードラゴン

これはクルードラゴンという最新の宇宙船です。

- ・ことば(ず)でかんがえ
- ・ことば(ず)でかんがえをかき
- ・ことばではなしあう

この宇宙船を作るためには言葉や図で考え、言葉や図で考えを書き、言葉でいろんな人が話し合い、考えを深めました。だからこそこのような宇宙船が完成したのです。

皆さんもいろんな学習の時間や生活の中で、言葉で考え、言葉で考えを書き、言葉で話し合ってほしいと思います。そのことでよりよい勉強ができたり、よりよい生活ができたりすると思います。

これで校長先生のお話を終わります。

